

令和2年度事業シート

(一般会計・公債費)

款	項	目	細目	予算事業名	部署名	頁
12	1	1	1	市債元金償還金	財政課	1
12	1	2	1	市債利子償還金	財政課	3
12	1	3	1	公債諸費	財政課	5

事業シート (概要説明書)

予算事業名	市債元金償還金		事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	-		担当課名	財政課		
根拠法令等	地方財政法		係名	財政係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	鈴木 諭		
実施の背景	公共施設等の建設に要する費用について、世代間の負担を公平にするために発行する建設事業債について、計画的に償還する。					
目的 (何をどうしたいのか)	融通条件、約定等により計画的に市債の償還を行うとともに、新規の市債発行額の適正化により、将来世代への負担軽減を図る。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	財務省、地方公共団体金融機構、銀行その他		対象者数 (全住民に対する割合)		
				人 (0 %)		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)				
<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)						
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費	活動指標		
	公債残高及び支払期限を正確に把握し元金を償還する。					
関連事業 (同一目的事業等)						
コスト		R2年度 (予算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	H29年度 (決算)	
	事業費合計	3,109,745 千円	2,015,863 千円	2,474,001 千円	1,537,994 千円	
	事業費内訳 R元年度	市債元金償還金 2,015,863千円				
	人件費	担当正職員	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.1 人 280 千円	0.1 人 280 千円	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円
総事業費	3,110,025 千円	2,016,143 千円	2,474,281 千円	1,538,274 千円		
財源内訳	国県支出金	9,797 千円	9,798 千円	10,287 千円	9,265 千円	
		国県支出金の内容 南房総広域水道用水供給事業市町村補助金				
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	4,613 千円	4,613 千円	
		その他特財の内容				
一般財源	3,100,228 千円	2,006,345 千円	2,459,381 千円	1,524,396 千円		
財源合計	3,110,025 千円	2,016,143 千円	2,474,281 千円	1,538,274 千円		

事業番号

予算科目
(款項目) 12 - 1 - 1

令和2年度

事業シート (概要説明書)

予算事業名		市債元金償還金			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R元年度	H30年度	H29年度
		-		/	/	/
				/	/	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	/				
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	成果目標の設定にはなじまないものである。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R元年度	H30年度	H29年度
						/
						/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	金利負担抑制に向けた資金調達方針を策定し、その方針に沿った調達をしていくこととする。 既発債については、現在の償還計画に基づき順次償還していくものであり、新規発行債も今後予定されていることから、本事業は、現行どおりとしたい。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	市債利子償還金		事業開始年度	平成16年度	
上位施策事業名	-		担当課名	財政課	
根拠法令等	地方財政法		係名	財政係	
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	鈴木 諭	
実施の背景	公共施設等の建設改良に要する費用について、世代間の負担を公平にするために発行する建設事業債に係る利子について、計画的に償還する。				
目的 (何をどうしたいのか)	融通条件、約定等により計画的に市債の償還を行うとともに、新規の市債発行額の適正化により、将来世代への負担軽減を図る。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	財務省、地方公共団体金融機構、銀行その他		対象者数 (全住民に対する割合)	
				人 (0 %)	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者) <input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()			
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
	公債残高及び支払期限を正確に把握し利子を償還する。				
関連事業 (同一目的事業等)					
コスト		R2年度 (予算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	H29年度 (決算)
	事業費合計	109,204 千円	127,863 千円	151,984 千円	172,523 千円
	事業費内訳 R元年度	市債利子償還金 127,863千円			
	人件費	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円
	担当正職員	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円
	臨時職員等	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円
人件費合計	0.1 人 280 千円	0.1 人 280 千円	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円	
総事業費	109,484 千円	128,143 千円	152,264 千円	172,803 千円	
財源内訳	国県支出金	1,522 千円	1,521 千円	1,875 千円	2,222 千円
		国県支出金の内容 南房総広域水道用水供給事業市町村補助金			
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円	千円
		その他特財の内容			
一般財源	107,962 千円	126,622 千円	150,389 千円	170,581 千円	
財源合計	109,484 千円	128,143 千円	152,264 千円	172,803 千円	

事業シート (概要説明書)						
予算事業名		市債利子償還金			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R元年度	H30年度	H29年度
		-		/	/	/
				/	/	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	/				
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	成果目標の設定にはなじまないものである。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R元年度	H30年度	H29年度
						/
						/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	金利負担抑制に向けた資金調達方針を策定し、その方針に沿った調達をしていくこととする。 既発債については、現在の償還計画に基づき順次償還していくものであり、新規発行債も今後予定されていることから、本事業は、現行どおりとしたい。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名		公債諸費		事業開始年度	平成16年度													
上位施策事業名		-		担当課名	財政課													
根拠法令等				係名	財政係													
事務区分		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	鈴木 諭													
実施の背景		地方債について、償還計画、普通交付税算入、決算統計などの事務において適切な管理が求められている。																
目的 (何をどうしたいのか)		地方債を適切に管理するため、システムを用いた管理を行う。																
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	地方債の管理			対象者数 (全住民に対する割合)													
					人 (0 %)													
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施																
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 株式会社ディーエスケー)																
		<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)																
事業内容 (手段、手法など)		事業内容 (箇条書き)		事業費		活動指標												
		起債管理システムを運用するため、システムのメンテナンスやトラブルが生じた際のサポート対応等について業務委託をしている。																
関連事業 (同一目的事業等)																		
コスト			R2年度 (予算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)		H29年度 (決算)									
	事業費合計		27 千円		442 千円		26 千円		26 千円									
	事業費内訳 R元年度		起債管理システムセットアップ手数料 415,800円 起債管理システム保守委託料 26,160円															
	人件費	担当正職員	0.2	人	1,120	千円	0.2	人	1,120	千円	0.2	人	1,120	千円	0.2	人	1,120	千円
		臨時職員等		人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
		人件費合計	0.2	人	1,120	千円	0.2	人	1,120	千円	0.2	人	1,120	千円	0.2	人	1,120	千円
	総事業費		1,147 千円		1,562 千円		1,146 千円		1,146 千円									
財源内訳	国県支出金																	
	国県支出金の内容																	
	地方債																	
	その他特財																	
	その他特財の内容																	
一般財源		1,147 千円		1,562 千円		1,146 千円		1,146 千円										
財源合計		1,147 千円		1,562 千円		1,146 千円		1,146 千円										

事業番号

予算科目
(款項目) 12 - 1 - 3

令和2年度

事業シート (概要説明書)

予算事業名		公債諸費			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R元年度	H30年度	H29年度
		-		/	/	/
				/	/	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	/				
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	成果目標の設定にはなじまないものである。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R元年度	H30年度	H29年度
						/
						/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の 方向性、課題等	当面の間は現行どおりとしたいが、今後コスト節減の観点から、財政全般の事務について総合的なシステムの導入について検討したい。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						